

ひと きょういく
すべての人に教育を
-Education for All-



ユネスコ世界寺子屋運動

書きそんじハガキ回収キャンペーン

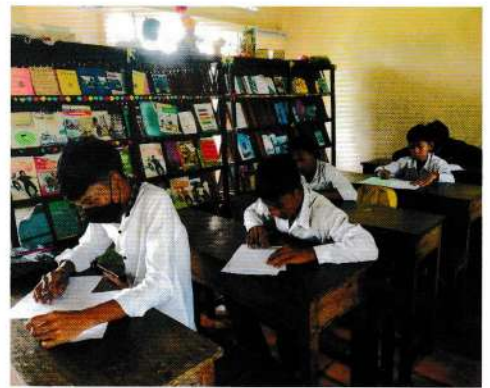
現在みなさまのご協力のおかげで541軒の寺子屋がたち、135万人が学ぶことができました。

どうぞご協力をお願いいたします。

2026年1月16日～2月6日



カンボジアの寺子屋



カンボジア小学生クラス

写真提供: 日本ユネスコ協会連盟



ネパール幼稚園クラス



か まい ひとり がっこう
カンボジアでは、書きそんじハガキ 12 枚で 1 人が 1 ヶ月学校に通えます。

みしょうきんけん しょうひんけん としょ やく た
未使用金券（商品券・図書カードなどのプリペイドカード・クオカードなど）も役に立ちます。

かいしゅうばこ かくしょうちゅうがっこう めぐるくそうごうちょうしゃ じゅうく どう こうきょうしせつまどぐち せっち
回収箱は、各小中学校・目黒区総合庁舎・住区センター等の公共施設窓口に設置されています。（個人情報にはご留意下さい）

主催：NPO 法人目黒ユネスコ協会 共催：（公社）日本ユネスコ協会連盟 後援：目黒区・目黒区教育委員会・（公財）目黒区国際交流協会

ユネスコ（UNESCO）って、なあ～に？

教育や科学や文化を通じてみんなで協力しあい、
世界の人々が平和に暮らす為にその基礎づくりの
仕事をしている国際連合の機関です。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

せかい がっこう い こども まんにん
世界には、いまだ学校に行けない子供が約2億 7,200 万人、
よ か おとな おく まんにん
読み書きができない大人が7億 3,900 万人もいます。
かず せかいじゅう おとな にん ひとり
この数は、世界中の大人の8人に1人。

NPO 法人目黒ユネスコ協会

153-0053 目黒区五本木2-24-3

電話：5725-6150（月～金／13時～16時）／Fax：5725-6160



書きそんじハガキはどんな役に立ちますか(Q&A)

NPO法人 目黒ユネスコ協会

みなさん、こんにちは。書きそんじハガキをどう使うか、説明しますね。

Q. 集めたハガキは、どうするのですか。

A. 目黒ユネスコ協会で、郵便局に持っていき、郵便切手にかえます。 [ハガキ85円→75円の寄付]

この切手を、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟に送ります。

日本ユネスコ協会連盟では、全国のユネスコ協会から集まった切手をお金に替えます。

このお金は、世界中の学校へ行けない子供たちや、学校に行けなかったために字が読めない大人たちが

勉強する学習センター(寺子屋)を手伝う世界寺子屋運動のために使われます。

Q. 寺子屋とはなんですか。

A. 寺子屋は、日本で、江戸時代にお寺などで、その町の一般家庭の子供たちが、読み書きそろばん(計算)を勉強した学校のようなところでした。

Q. 世界寺子屋運動とは、なんですか。

A. 世界では、家の仕事を手伝わなければならないなどのため、学校に行けない子供(6~14歳)が

約2億7,200万人います。また、同じ理由で学校へいかないで大人になり、読み書きの出来ない人たちが7億3,900万人います。

この数は、世界中の大人の8人に1人です。また、日本の人口の6~7倍にあたります。

これらの子供や、大人たちに、読み書きと計算ができるようになる勉強の機会をととのえようと、日本中の人々が力を合わせています。これが、世界寺子屋運動です。

Q. その学習センター(寺子屋)は、どこの国にありますか。

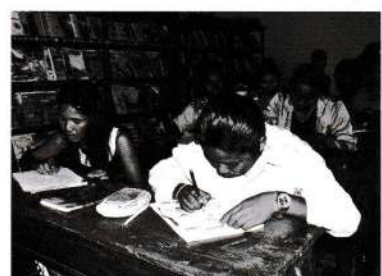
A. 日本ユネスコ協会連盟が手伝っている寺子屋(地域学習センター)は、ネパール、アフガニスタン、カンボジア、ミャンマーにあります。

Q. どんなことを手伝っていますか。

A. 手伝い(支援事業)の内容は、寺子屋の建物を作ったり、ノート、テキスト、鉛筆などの文房具をそろえたり、先生の研修費や運営費を出しています。

Q. ハガキ1枚で何を買えますか。

A. ハガキ2枚で、ネパールでは ペン 3本
アフガニスタンでは 消しゴム 3個 になります。



皆さん、書きそんじハガキをたくさん集めて、世界寺子屋運動に協力しましょう。